

リハビリテーション科学研究科

精神活動(人間活動科学分野)



佐野 菜緒子さん
2025年度入学者

現在のお仕事内容は？

総合病院に勤務するうちに、呼吸器疾患をもつ患者さんの地域生活に興味を持つようになり、在宅生活に近い、呼吸器内科クリニックでの外来呼吸リハビリテーションに携わるようになりました。現在は、慢性閉塞性肺疾患や間質性肺炎、肺がんといった呼吸器疾患をもつ患者さんに対して運動療法中心の外来呼吸リハビリテーションを提供しています。患者さんがその人らしい生活を送れるように、運動療法だけでなく、日常生活のセルフマネジメント支援や活動への動機づけを高めるような支援も行っています。

本学大学院進学のかっけは？

本学の授業は多くが土日を開講しており、オンライン授業も積極的に取り入れているため、自宅と大学との距離があっても通学しやすいと考え、本学を志望しました。さらに、大学院では医療現場での作業モデル実践に関する研究を行いたいと考えていたため、医学モデルだけでなく作業モデルにも精通している作業療法学科の先生方のもとで研究活動をしたいと思い、兵庫医科大学大学院への進学を決めました。実際に、先生方には普段の勤務や学会の日程を考慮していただくこともあり、柔軟に対応いただいています。本学は働きながらも研究がしやすい環境だと感じています。

大学院ではどのようなことを学んでいますか？

主に、地域在住の呼吸器疾患患者様の活動や参加への動機づけ、生きがいに焦点を当てた研究に取り組んでいます。息切れによって様々な作業活動の喪失体験を経験し、外出頻度が減りやすい呼吸器疾患患者の方々に対し、作業療法士として、その方が大切にしていく作業に参加できるような支援方法を模索しています。

大学院での学びで、お仕事を役に立つ内容(知識・スキル)はありますか？

臨床場面では、入学前に比べて、自分の臨床経験だけに頼らず、エビデンスに基づいた介入方法を取り入れようとする意識が高まりました。研究活動を通して学んだ最新情報へのアクセス方法や論文を、批判的に読むスキルなども役に立っています。もともと人前に出ることは苦手でしたが、他者に伝えるコミュニケーションスキルや人前で話す勇氣も少しずつ身につけてきていると感じます。

大学院での学びを活かしてどのような将来像を描いていますか？

地域在住の呼吸器疾患をもつ患者様に対する地域でのサポート体制はまだ十分とはいえません。呼吸器疾患をもつ患者様が地域で生きがいをもって満足度の高い生活を送れるよう、大学院での学びを日々の臨床に還元していきたいと考えています。

~ WEEKLY SCHEDULE ~

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24 時	
月曜日		勤務(通勤含)						研究	勤務(通勤含)				研究		睡眠					
火曜日		勤務(通勤含)						研究	勤務(通勤含)				研究		睡眠					
水曜日		勤務(通勤含)						研究	勤務(通勤含)				ゼミ		睡眠					
木曜日		研究・自宅学習																睡眠		
金曜日		勤務(通勤含)						研究	勤務(通勤含)				研究		睡眠					
土曜日		勤務(通勤含)							講義・自宅学習						睡眠					
日曜日		講義・研究						講義・研究						睡眠						

学ぶ時間を確保するために工夫している事がありますか？

勤務先のクリニックは昼休みが長いので、その時間に1時間ほど研究に取り組むようにしています。また、電車通勤中にオンデマンド講義を視聴して空き時間を活用することもあります。勉強とプライベートのメリハリをつけるために、作業時間を決める、1日のTodoリストを作成するといった工夫もしています。

お仕事と学業の両立で苦勞されたことはありますか？ どのように乗り越えていますか？

仕事と授業の両立では、授業開講日と出勤日が重なる際に出勤日の調整が必要でしたが、院長や上司の理解があり、在学中は柔軟に対応していただいています。職場の協力があるからこそ、土日の授業や研究活動、学会参加が可能になっていると感じています。フルタイム勤務を続けながら研究の時間を確保する難しさだけでなく、忙しさによるストレスや研究のプレッシャーを感じることもあります。友人との時間や趣味活動などで気分転換を図り、ストレスを溜めないように心がけています。

リハビリテーション科学研究科

内部障害(病態運動学分野)

本学大学院進学のかっけは？

- 1.理学療法士レジデントとしての臨床経験を通じて、クリニカルクエストが明確になり、それを明らかにしたかったため。
- 2.臨床に出てから、兵庫医療大学(学部)時代の先生方の授業の質の高さを改めて実感し、この環境でさらに専門性を高めたいと思ったため。
- 3.私の研究したい心臓・腎臓リハビリテーション分野で活躍されている松沢先生の指導を直接受けたいと思ったため。
- 4.授業がほぼオンラインorオンデマンドで、休日出勤しながらでも大学院進学が可能であり、進学へのハードルが下がったため。



杉本 凌さん

2025年度入学者

大学院ではどのようなことを学んでいますか？

- 1.私の研究テーマは、心不全で入院した患者様の筋力低下を早期に予測し予防することについてです。
- 2.専門的な講義や内部障害ゼミに所属する院生の研究テーマから学ぶことも多くあります。
- 3.内部障害ゼミは月に2~4回あり、研究の質問やアドバイスをいただきながらブラッシュアップしています。また、googleのチャット機能を使用し、松沢ゼミに所属している全員に気軽に相談でき、お互いに疑問点を解消できるような体制になっています。

大学院での学びで、お仕事を役に立つ内容(知識、スキルなど)はありますか？

大学院では、単に専門知識を詰め込むだけのものではなく、論文を読み込み物事の根本を深く掘り下げる考え方を学んでいます。これにより、患者さんの複雑な状態を紐解き、的確な評価から最適な治療プログラムを組み立てる「臨床推論」の能力が飛躍的に向上したと実感しています。

現在のお仕事内容は？

現在勤務している病院は、神戸市内でも特に高齢化が進んだ地域の基幹病院という重要な役割を担っています。そのため、様々な背景を持つ患者様一人ひとりに最適なりハビリテーションを提供することが求められます。普段は全疾患の病棟を担当し、急性期患者様の機能回復に尽力しています。また、診療科回診や病棟のカンファレンスにも参加し、多職種と密に連携しながら理学療法を実施しています。加えて、集団での心臓リハビリテーションの実施により、患者様の社会復帰を誠心誠意サポートしています。過去のレジデント経験を活かし、チーム全体の知識向上を目指した勉強会の開催や、より質の高い医療を提供できるよう業務効率化の提案や常に自分にできることを探し、行動に移すよう心がけています。

大学院での学びを活かしてどのような将来像を描いていますか？

臨床と研究の相乗効果を最大限に発揮し、目の前の患者様や地域全体に貢献できる理学療法士になる事が私の目標です。また、当院でも開始された理学療法士レジデント制度での後輩教育にも力を入れたいと考えています。

~ WEEKLY SCHEDULE ~

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24 時
月曜日		勤務(通勤含)												ゼミ				睡眠	
火曜日		勤務(通勤含)												研究				睡眠	
水曜日		勤務(通勤含)												研究				睡眠	
木曜日		勤務(通勤含)												研究				睡眠	
金曜日		勤務(通勤含)												友人と交流				睡眠	
土曜日			講義(オンデマンド・オンライン)													睡眠			
日曜日		自宅学習(課題・資料作成)													睡眠				

学ぶ時間を確保するために工夫している事はありますか？

オンライン・オンデマンド授業への移行で、講義の視聴期間に幅を持たせてくれているので、通勤の電車で講義を受けたりできるのが嬉しいポイントです。おかげで対面授業と比較し、通学時間が不要となり、その時間を自己学習に充てることができている。また、オンデマンド授業は繰り返し視聴できます。また、オンデマンド授業は繰り返し視聴できるため理解を深められるほか、ゼミもオンラインで教員やゼミ生と密に連携(zoomでのオンラインゼミやGoogle Chat機能でのリアルタイムでの質問)できるため、時間を有効に活用しています。

